

4方にひらく屋根



□プロローグ

ここ大渡海岸は、ジョン万次郎上陸の地として知られ、多くのダイビング利用者にとっても海にアクセスしやすい人気のスポットであり、「ジョンビーチ」の愛称で親しまれている自然豊かな公園です。当時の鎖国で閉じた日本と世界との国交を拓くという使命感を持ったジョン万次郎が日本開国の足掛かりとして選んだ最初の場所でもありました。それは言い換えると、日本人であるジョン万次郎が帰国したことで沖縄や日本にとって**世界との繋がりを強く意識した最初の地**と言えるのかもしれませんが。



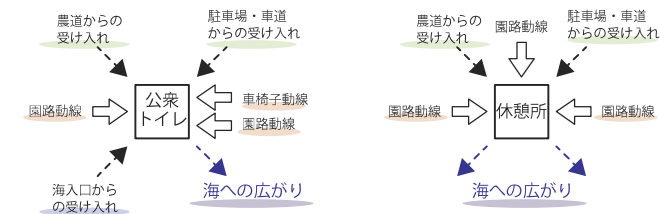
□コンセプト

ジョン万次郎の上陸によってこの土地に「新たな2つの意識」が生まれました。それは「異なるものを受け入れて次へ繋げること」、「海の向こうに広がる世界を意識すること」であり、これらは過去に限らず現在・未来にも通ずる活かすべきポイントだと考えます。この土地に起こった歴史的要素から建築を構成し現代の人々に「意識」を促す。そんなこの土地の魅力から生まれた休憩所と公衆トイレを提案します。



□建築プログラム

新たに整備する園路と建築がこの土地の様々な方向をシームレスに繋ぎ、それと同時に海の向こうに広がる意識を促します。



□ダイアグラム

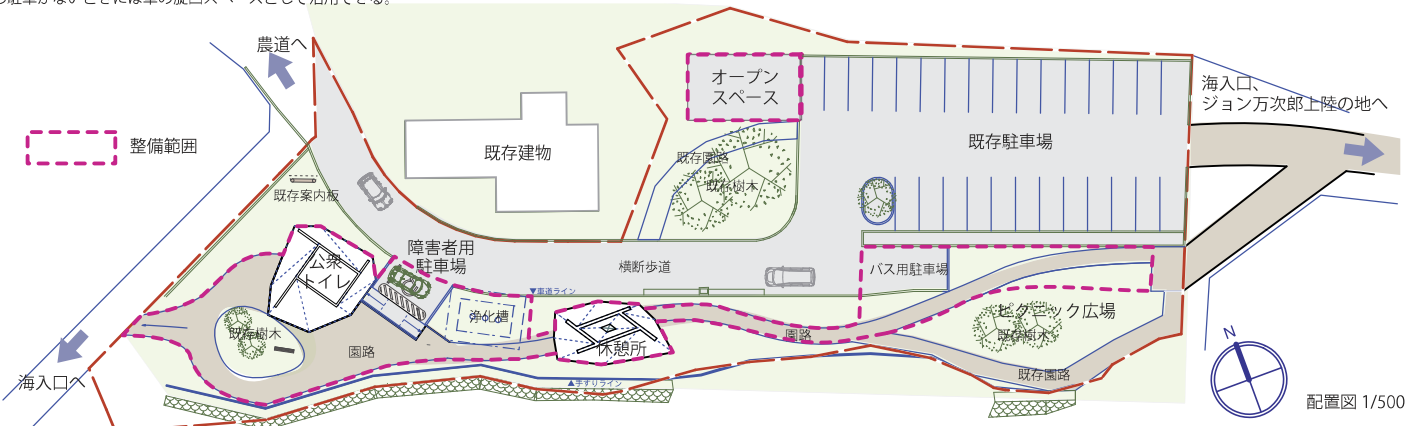
※休憩所と公衆トイレは同様の建築構成なので、より明確な休憩所について示す。

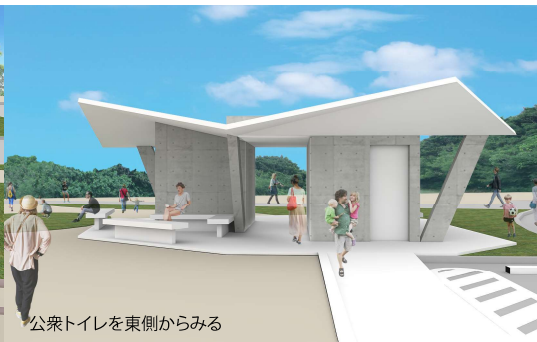
- 1.空間を4方向に分断しその場に柱を配置した。柱間を園路の通り道とし、海方向とバス停には横の広がりを感じられるように柱の位置に配慮。
- 2.横方向の景色や視認性を確保し、大きな庇の出に対応するため柱の延長上に斜め柱を追加した。4つの空間が程よく分断されつつもシームレスに繋がるよう柱間隔や角度を調整。
- 3.下から屋根を見上げた時にすっきりとした見た目とするため梁を逆張りとし、4方向全てに屋根をかけ、さらに開きたい方向に軸に沿って折るように屋根を跳ね上げる。
- 4.これらの操作により建物中央付近から各方面を見た時に、開きたい方向の軸を含む範囲を一望することができる。特に海方面には広々とした屋根を設けており、この土地の美しいパノラマの風景を損なわないよう考慮した。



□配置計画について

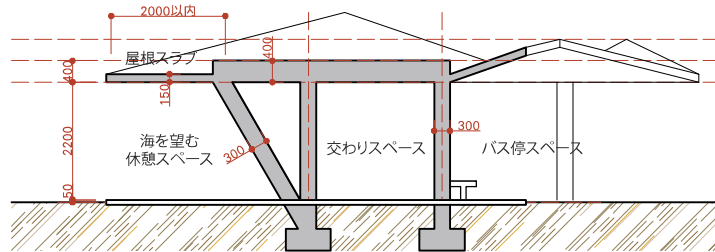
公衆トイレは東側のピクニック広場や狭い園路は避け、エントランスや西側の海入口にも近い開けた場所に配置した。障害者用駐車場はトイレに併設し多目的トイレへの導線を極力短くすることで、安全面に配慮した。休憩所は既設休憩所とほぼ同じ位置に改築とし、既設建物などの周辺環境からの風景に極力影響が少ないよう配置した。また、園路は、新設の建物を通り東西の海入口へ続く道へ分かりやすく繋がるように再整備する。既設の公衆トイレの位置にはオープンスペースを設け、サーフボードなどの手入れ場所として利用できる。ジョン万次郎のツアーバスの来訪があるため、バス用の駐車場を設ける。また、バスの駐車がないときには車の旋回スペースとして活用できる。





□構造計画

- 休憩所は300角のRC柱をスパン4m以内に4本配置し、さらに柱芯の延長上に300角の斜め柱をそれぞれの柱に設けることで各方向への屋根の張り出しに対応します。
- 公共トイレは断熱性、防音性に優れた壁式構造とし、シンプルな構造計画とします。また休憩所の構成と同じく斜めの壁柱を設けることで半屋外の広い空間を確保します。
- RCには耐候性を考慮しフライアッシュコンクリートを採用します。



□建築概要

- 「休憩所」
- 構造 : RC造
 - 床面積 : 25.80㎡
 - 建築面積 : 50.88㎡
 - 最高高さ : 3.50m
- 「公共トイレ」
- 構造 : 壁式RC造
 - 床面積 : 20.61㎡
 - 建築面積 : 41.88㎡
 - 最高高さ : 3.20m

□仕上げ

- 「休憩所」
- 柱・梁: RC打ち放し+フッ素クリア塗装
 - 屋根: RC打ち放し補修+ウレタン塗装
- 「公共トイレ」
- 壁・梁: RC打ち放し+フッ素クリア塗装
 - 屋根: RC打ち放し補修+ウレタン塗装
 - 床: コンクリート土間+ビション仕上げ